

2022年度

法政大学大学院

理工学研究科募集要項

- I. 一般入試・学内推薦入試要項
- II. 一般推薦入試要項
- III. 社会人特別入試要項

法政大学大学院

理工学研究科

目 次

■理工学研究科の目的と特色	…P. 1
■入学制度について	…P. 2
■理工学研究科 専任教員担当一覧	…P. 3
■入試要項	
I. 一般入試・学内推薦入試要項	…P. 5
II. 一般推薦入試要項	…P. 12
III. 社会人特別入試要項	…P. 15
法政大学大学院コンビニエンスストアまたはクレジットカードでの入学検定料支払方法	…P. 19
■情報科学研究科・理工学研究科 共通事項	…P. 20
■入試出願書類	…巻末

■理工学研究科の目的と特色

科学技術の進歩とその国際的競争は著しく、我が国が指導的役割を担う分野は拡大し続けている。将来の科学技術の発展に貢献するためには、現在の最先端の科学技術に習熟するばかりではなく、将来のための基礎力を充実させることも重要である。現在、世界中で、柔軟で独創的な能力をもつ技術者・研究者の育成が強く望まれている。

このような社会の要請に応えるために、本学理工学研究科では機械工学、応用化学、電気電子工学、応用情報工学、システム工学、生命機能学の6つの専攻を設置している。これらの専攻において、将来の科学技術の発展を担う高度なエンジニアおよび研究者の養成をめざし、教育と研究を熱心に行なっている。

今日の科学技術の発展は急速な知識の陳腐化をともなうので、社会人への新しい科学技術教育の要請が高まっている。このため、本学理工学研究科では社会人向けの特別入学制度を実施している。この制度は、出願時に1年以上の職務歴を有する社会人を大学院の正規学生として受け入れるものである。現在取り組んでいる研究のさらなる展開、先端的な技術研究や新しい分野へのチャレンジなど、社会人としての多様なニーズにも応えられるように門戸を開いている。

また他大学との優秀な人材の交流のために、一般推薦入学制度も設けている。この制度では筆記試験を免除し、口述試験と学業成績および推薦書を総合的に判断して入学を許可する。

■入学制度について

近年、我が国の科学技術の進歩は目ざましく、既に欧米先進国を凌ぐ勢いである。現代社会では、創造的な技術開発能力に富み、技術革新を積極的に追求する高度な専門技術者を必要としている。本理工学研究科では、このような社会的要請に答えるため、また開かれた大学院を目ざして、下記の4つの入学試験制度を設けている。

(詳細については該当ページもしくは別冊を確認のこと。)

(1) 一般入学制度、学内推薦入学制度

一般入学制度は、学内・他大学からの進学希望者を広く受け入れるため、筆記試験と口述（面接）試験の結果を総合的に評価して入学を許可する制度である。

学内推薦入学制度は、本学の理工学部・生命科学部の学部生で修士課程への進学希望者、および本大学院理工学研究科修士課程学生で博士後期課程への進学希望者で、事前に学内推薦入学試験受験許可を得た者に対して、筆記試験を免除し口述（面接）試験による評価に重点をおき、入学を許可する制度である。

(2) 一般推薦入学制度

本制度は、他大学からの優秀な人材を受け入れるため、筆記試験を免除し口述（面接）試験と学業成績および推薦書を総合的に判断して入学を許可する制度である。

(3) 社会人特別入学制度

本制度は、企業、官公庁、教育機関等の実社会で体得した研究能力、さらに実務的経験の評価に重点をおき、社会人として1年以上の職務歴を有する者を正規大学院生として受け入れる制度である。

(4) Institute of Integrated Science and Technology (IIST)

Institute of Integrated Science and Technology (IIST)（総合理工学インスティテュート）は、大学院理工学研究科と情報科学研究科が協働し、理系専攻分野の先端的研究を遂行するとともに専攻横断的な研究分野を設けサステイナブルなグローバル社会の実現に向けた問題解決に取り組むことを目的に設立された。

グローバル社会において総合理工学分野のリーダーとして活躍する意欲にあふれる方を対象（外国人、日本人を問わない）に、総合理工学を英語で学ぶ横断型大学院プログラムである（2016年9月開始）。

<http://iist.hosei.ac.jp/>

2022年度 理工学研究科 専任教員担当一覧（予定）

専攻	身分	氏名	担当	専攻	身分	氏名	担当	専攻	身分	氏名	担当	
機械工学	教授	新井 和吉	D	システム理工学	創生科学系			応用化学	教授	明石 孝也	D	
	教授	石井 千春	D		教授	金沢 誠	D		教授	石垣 隆正	D	
	教授	川上 忠重	D		教授	小林 一行	D		教授	緒方 啓典	D	
	教授	崎野 清憲	D		教授	佐藤 修一	D		教授	河内 敦	D	
	教授	チャピ ゲンツイ	D		教授	塩谷 勇	D		教授	杉山 賢次	D	
	教授	塚本 英明	D		教授	鈴木 郁	D		教授	高井 和之	D	
	教授	辻田 星歩	D		教授	松尾 由賀利	D		教授	森 隆昌	D	
	教授	平野 元久	D		教授	伊藤 隆一	M科		教授	山下 明泰	D	
	教授	御法川 学	D		教授	福澤 レベッカ	M科		教授	渡邊 雄二郎	D	
	教授	吉田 一朗	D		教授	呉 暁林	M科		准教授	小鍋 哲	M科	
	教授	平野 利幸	M		教授	梨本 邦直	M科		生命機能学領域			
	准教授	相原 建人	M		准教授	田中 幹人	D		教授	金子 智行	D	
	電気電子工学	教授	伊藤 一之		D	准教授	柴田 千尋		M	教授	川岸 郁朗	D
		教授	岡本 吉史		D	准教授	柳川 浩三		M科	教授	佐藤 勉	D
教授		斉藤 利通	D		経営システム系			教授	曾和 義幸	D		
教授		柴山 純	D		教授	磯島 伸	D	教授	常重 アントニオ	D		
教授		鳥飼 弘幸	D		教授	木村 光宏	D	教授	廣野 雅文	D		
教授		安田 彰	D		教授	五島 洋行	D	教授	水澤 直樹	D		
教授		山内 潤治	D		教授	寺杣 友秀	D	教授	山本 兼由	D		
教授		中村 俊博	D		教授	林 俊介	D	准教授	西川 正俊	D		
准教授		笠原 崇史	D		教授	宮越 龍義	D	植物医科学領域				
准教授		中村 壮亮	D		准教授	田村 信幸	D	教授	石川 成寿	D		
准教授		西村 征也	D		准教授	高澤 兼二郎	M	教授	大井田 寛	D		
准教授		川口 悠子	M科		准教授	千葉 英史	M	教授	大島 研郎	D		
専任講師		佐々木 秀徳	M		准教授	安田 和弘	M	教授	佐野 俊夫	D		
応用情報工学		教授	赤松 茂		D	専任講師	作村 建紀	M科	教授	津田 新哉	D	
	教授	彌富 仁	D					教授	濱本 宏	D		
	教授	尾川 浩一	D					准教授	廣岡 裕吏	D		
	教授	金井 敦	D					専任講師	鍵和田 聡	M科		
	教授	品川 満	D									
	教授	藤井 章博	D									
	教授	李 磊	D									
	教授	和田 幸一	D									
	准教授	周 金佳	D									
	准教授	平原 誠	M									
							D :	博士課程担当（特別研究・特別実験担当）				
							M :	修士課程担当（特別研究・特別実験担当）				
							M科 :	修士課程授業科目を担当				

入 試 要 項

I. 一般入試・学内推薦入試要項

1. 募集専攻および募集人員

	修士課程 (博士前期課程)	博士後期課程
専攻および 入学定員	機械工学専攻 50名	機械工学専攻 2名
	応用化学専攻 30名	応用化学専攻 3名
	電気電子工学専攻 50名	電気電子工学専攻 5名
	応用情報工学専攻 50名	応用情報工学専攻 4名
	システム理工学専攻 75名	システム理工学専攻 4名
	生命機能学専攻 40名	生命機能学専攻 4名

※上記は他の選抜方式を含めた理工学研究科全体の募集人員である。

2. 入学試験日程

事前に出願資格審査が必要な場合があるため、「4. 出願資格」「5. 出願資格審査」を事前に確認すること。

	第1回	第2回
課程	修士課程・博士後期課程	
修士課程と研修生の併願制度	研修生の併願制度なし	研修生の併願制度あり
出願期間	2021年5月31日(月) ～6月7日(月)	2022年1月11日(火) ～1月21日(金)
試験日	○筆記試験 2021年7月4日(日) 専門科目 9:30～11:30	○筆記試験 2022年2月21日(月) 専門科目 9:30～11:30
	○口述試験 2021年7月4日(日) (学内推薦受験者) 9:30～ (一般入試受験者) 14:30～	○口述試験 2022年2月21日(月) (学内推薦受験者(博士)) 9:30～ (一般入試受験者) 14:30～
合格発表	2021年7月13日(火) 10:00 合否案内webサイトにて発表	2022年2月24日(木) 10:00 合否案内webサイトにて発表
入学金・春学期分学費等納入 および入学手続期間	2021年11月29日(月) ～12月10日(金)	2022年2月24日(木) ～3月2日(水)

- (注) 1. 「学内推薦入試」志願者は事前に「学内推薦入学試験受験希望者登録」が必要となる。
詳細は Web 掲示版を確認すること。
2. 「学内推薦入試」の第2回は博士後期課程志望者のみ対象となる。
3. 受験者は筆記試験と口述試験の両方を受験すること (但し、学内推薦受験許可者は口述試験のみ)。
4. 筆記試験において英語は実施せず、外部英語試験スコアカードの提出となる。6. 出願手続の提出書類欄を確認のこと。
5. 専攻によっては専門科目で電卓を使用可とすることがあるので、持参すること。
6. 修士課程第2回一般入試志願者で、不合格の場合に研修生入試への出願を希望する者は、入学志願票(様式1)の所定欄に併願についての選択をしてください。

3. 筆記試験の試験科目

		修士課程	博士後期課程
専攻	系領域	専門科目 (試験時間 9:30~11:30)	専門科目 (試験時間 9:30~11:30)
機械工学		下記の5分野の中から3分野を選択して解答すること。 材料力学、熱力学・熱工学、水力学・流体工学、 機械力学・制御工学、材料物性 (各分野数学を含む)	機械工学の専門分野に関する与えられた課題に対する小論文を解答すること。
応用化学		下記の5科目の中から3科目を選択し、解答すること。 物理化学、有機化学、無機化学、化学工学、環境化学	応用化学の専門分野に関する与えられた課題に対する小論文を解答すること。
電気電子工学		下記の12科目の中から3科目を選択し、解答すること。 電磁気学、電気回路、電磁エネルギー工学、電子物性工学、 集積回路工学、光伝送デバイス工学、制御工学、 分布定数回路、プログラミング言語C、 応用数学、半導体工学、応用物理学	専門分野に関する与えられた課題の小論文を解答すること。
応用情報工学		下記の11科目の中から、3科目を選択し解答すること。 計算機アーキテクチャ、アルゴリズム、形式言語とオートマトン、 ネットワークとセキュリティ、基礎電気回路、信号処理、 情報理論、分散システム理論、センシング、脳情報処理、 プログラミング	専門分野に関する与えられた課題の小論文を解答すること。
システム理工学	創生科学系	創生科学系の教員を指導教員として受験する者は、 ①必修科目：創生科学基礎（数学） ②下記の11科目の中から、2科目を選択し解答すること。 制御工学、論理システム工学、計算工学、 知能科学基礎、電気回路、電磁波科学、量子科学、力学、 人間情報工学、分散システム、離散科学基礎	創生科学系の教員を指導教員として受験する者は、専門に関する与えられた課題の小論文を解答すること。
	経営システム系	経営システム系の教員を指導教員として受験する者は、 以下の6科目より3科目選択して解答すること。 数理科学、情報処理、確率・統計、 オペレーションズ・リサーチ、金融工学、計量経済学	経営システム系の教員を指導教員として受験する者は、専門に関する与えられた課題の小論文を解答すること。
生命機能学	生命機能学	①必修科目：基礎生命科学 ②下記の4科目の中から2科目を選択し、解答すること。 ゲノム科学、蛋白質科学、細胞生物学、生命システム科学	専門に関する与えられた課題の小論文を解答すること。
	植物医科学	①必修科目：植物医科学 ②下記の4科目の中から2科目を選択し、解答すること。 植物病理学、害虫学、植物工学、植物病原学	専門に関する与えられた課題の小論文を解答すること。

4. 出願資格

修士課程

次の1)～9)のいずれかに該当する者

1)	大学を卒業した者、又は2022年3月末までに大学卒業見込みの者(※1)
2)	独立行政法人大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者、又は2022年3月末までに同機構より学士の学位を授与される見込みの者(※2)
3)	外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、又は2022年3月末までに修了見込みの者(※3)
4)	外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、又は2022年3月末までに修了見込みの者(※4)
5)	我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、又は2022年3月末までに修了見込みの者(※5)
6)	外国の大学その他の外国の学校において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者、又は2022年3月末までに学士の学位に相当する学位を授与される見込みの者(※6)
7)	専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者(2022年3月末までに修了見込みの者も含む)(※7)
8)	文部科学大臣の指定した者(※8)
9)	本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者(※9)
10)	学内推薦に出願できる学部学科と出願先の専攻は以下の通りです。(※10) ■理工学部 機械工学科・・機械工学専攻 電気電子工学科・・電気電子工学専攻 応用情報工学科・・応用情報工学専攻 経営システム工学科・・システム理工学専攻経営システム系 創生科学科・・システム理工学専攻創生科学系 ■生命科学部 生命機能学科・・生命機能学専攻生命機能学領域 環境応用化学科・・応用化学専攻 応用植物科学科・・生命機能学専攻植物医科学領域

<補足事項>

- ※1 「大学」とは日本国内の大学を指します。
- ※2 この資格により受験希望の場合は、出願締切日1か月前までに小金井事務部大学院課へ問い合わせてください。
- ※3 学士学位を取得(2022年3月末までに取得見込みを含む)していない場合は該当しません。
- ※4 学士学位を取得(2022年3月末までに取得見込みを含む)していない場合は該当しません。
- ※5 文部科学大臣指定外国大学日本校を指します。対象となる学校は、文部科学省ホームページを参照してください。
http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111316/001.htm
- ※6 この資格により受験希望の場合は、出願締切日1か月前までに小金井事務部大学院課へ問い合わせてください。
 - ・学士の学位に相当する学位を授与されていない場合は該当しません。たとえば中国の3年制大学(専科大学・職業大学院等)のみ卒業し学士学位を取得していない場合は該当しません。
 - ・「その他の外国の学校」とはその教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限り、
 - ・「修業年限が3年以上である課程を修了する」方法には、当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含みます。
- ※7 対象となる専修学校の専門課程については、文部科学省ホームページを参照してください。
http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111316/002.htm
- ※8 この資格により受験希望の場合は、出願締切日1か月前までに小金井事務部大学院課へ問い合わせてください。
- ※9 詳細は5.出願資格審査を参照してください。なお、22歳に達した者とは入学時(2022年4月)の年齢を指します。
- ※10 5ページ(注) 1. を参照のこと。

博士後期課程

次の1)～6)のいずれかに該当する者

1)	修士の学位又は専門職学位を有する者、又は2022年3月末までに学位を授与される見込みの者
2)	外国における大学院において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を得た者、又は2022年3月末までに修士の学位又は専門職学位に相当する学位を得る見込みの者
3)	外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を得た者、又は2022年3月末までに修士の学位又は専門職学位に相当する学位を得る見込みの者(※1)
4)	文部科学大臣の指定した者(※2)
5)	本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者(※3)
6)	国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者(※4)

<補足事項>

- ※1 この資格で受験希望の場合、出願締切日1か月前までに小金井事務部大学院課にて受験資格を確認してください。
- ※2 この資格で受験希望の場合、出願締切日1か月前までに小金井事務部大学院課にて受験資格を確認してください。
- ※3 5.出願資格審査を参照してください。なお、24歳に達した者とは入学時(2022年4月)の年齢を指します。
- ※4 この資格で受験希望の場合、出願締切日1か月前までに小金井事務部大学院課にて受験資格を確認してください。

5. 出願資格審査

入学資格審査(修士課程の9, 博士後期課程の5)により受験しようとする者は、出願前に以下の書類を提出期日に提出し資格の認定を受ける必要がある。この資格で受験を考えている者は、希望する研究指導教員の承諾を得たうえで、事前に小金井事務部大学院課(042-387-6014)へ問い合わせて、提出書類を入手すること。

■提出書類

- ①出願資格認定審査調書(本学大学院指定用紙)
- ②学術活動・実務経験報告書(本学大学院指定用紙)
- ③研究業績(本学大学院指定用紙)〈博士後期課程のみ〉(論文等の抜刷(各1部)添付のこと)
- ④成績証明書および卒業証明書
- ⑤身元保証書(外国人留学生のみ)
- ⑥返信用封筒(定形封筒、宛名明記、84円切手貼付)

- 提出期日 第1回 2021年5月10日(月)～5月12日(水)
第2回 2021年11月24日(水)～11月26日(金)

- 提出方法 封筒の表に「出願資格認定書類在中」と朱書きし、提出書類を下記住所へ「簡易書留」で郵送すること(締切日必着)。
〒184-8584 東京都小金井市梶野町3-7-2 法政大学小金井事務部大学院課

- 審査結果の通知 第1回 2021年5月25日(火) 発送予定
第2回 2021年12月17日(金) 〃

6. 出願手続 ■提出書類

提出物	修士課程 志願者	博士後期課程 志願者
①入学志願票（様式1） * 3ヶ月以内に撮影した写真を貼付のこと * 入学検定料の「収納証明書」を貼付のこと * 修士課程第2回一般入試志願者で、不合格の場合に研修生入試への出願を希望する者は、所定欄に併願についての選択をすること。	必須	必須
②受験票（様式2） * 志願する課程、専攻（系・領域）、氏名、受験票送付先住所を楷書で記入すること * 願書受付処理後にはがきサイズに縮小印刷し、返送するので試験当日必ず持参すること	必須	必須
③面接カード（様式3） * 入学後の指導希望教員は特別研究・特別実験を担当する専任教員に限る * 3ヶ月以内に撮影した写真を貼付のこと	必須	必須
④成績証明書および卒業（見込）証明書（修士課程志願者） 成績証明書および修了（見込）証明書（博士後期課程志願者） * 「成績・卒業/修了（見込）証明書」1通でも可 * 法政大学出身者は、「成績・卒業/修了（見込）証明書」1通を提出すること * 出願前3ヶ月以内に発行されたもので、学部3年次（博士後期課程志願者は修士1年次）までの成績が記載されたもの。厳封無用 * 修士課程出願資格3により出願する者（外国の大学出身者）は成績証明書のみの提出で可 * コピー不可	必須	必須 （法政大学の学部卒業で他大学院修了者は学部卒業時の証明書も提出）
⑤TOEIC®またはTOEFL®の成績通知書（学内推薦入試志願者は不要） * 大学入学後に受験したTOEIC®、TOEIC®-IP、TOEFL®-PBT、TOEFL®-iBT、TOEFL iBT Home Editionのスコアカードにより判定を行う。TOEIC®-IPについては、本学で実施したものに限り。なお、TOEFL®-iBTの得点は、ETSが公表している換算表に従ってTOEFL®-PBTのスコアに換算し、さらにTOEIC®の得点に換算して英語得点とする。換算式： $[TOEFL®-PBT-296] \div 0.348=TOEIC®$ 換算点 * 全て大学入学後に受験したものを有効とする * コピー不可 * （第1回志願者のみ）TOEIC®は出願時にスコアカード本書が無くても、2021年6月末日までにスコアカード本書を提出できる場合は出願を認める。出願時にはその旨をA4サイズ1枚の紙に記載して提出すること。 * （第1回志願者のみ）TOEFL®-iBTは出願時にスコアカード本書が無くても、2021年6月末日までに大学院課窓口でログインしスコア画面を提示できる場合は出願を認める。出願時にはその旨をA4サイズ1枚の紙に記載して提出すること。	学内推薦入試志願者以外は提出	
⑥出願資格認定書の写し	出願資格審査により受験を許可された者のみ	
⑦住民票（市区役所・町村役場発行のもの）1通 * 「在留資格」と「在留期間」が記載され、個人番号（マイナンバー）が記載されていないものを提出。日本に住所登録がない場合（短期滞在ビザでの入国等）はパスポートの写し（写真および旅券番号がわかるページとビザのページ、ビザ免除国に該当する場合は出入国印が押印されているページ）を代わりに提出すること。	日本に居住する 外国籍者のみ	
⑧学士学位取得（見込）証明書（修士課程志願者） 修士学位取得（見込）証明書（博士後期課程志願者） * コピー不可	外国の大学卒業（見込）・外国の大学院修了（見込）の方のみ	
⑨修士論文または研究論文 （2,000字以内の要旨も添付すること）	必須	
⑩身元保証書（様式4）	他大学出身者で日本に居住する外国籍者のみ	

■指定様式については大学院ホームページより各自ダウンロードし、A4サイズのコピー用紙に片面印刷して提

出すること。A4以外のサイズや両面印刷、裏紙の使用は不可。

■手書きで記入する場合は、黒または青のボールペンまたはペンを使用し、自筆で記入すること。熱で消えるボールペンは使用不可。

■提出書類は、入学後の指導希望教員に受験の了承を得てから提出すること。

■特に外国の大学を卒業・修了した者は、証明書について<情報科学研究科・理工学研究科 共通事項>のページを必ず読むこと。

■入学検定料 35,000円

■入学検定料の納入について

出願期間内に、コンビニ収納またはクレジット支払いにより納入する。

「コンビニエンスストアまたはクレジットカードでの検定料支払方法」を参照すること。

収納証明書を入学志願票（様式1）に貼付して提出すること。

■出願方法

(1) 提出書類を準備し、出願期間内に検定料を納入する。

(2) 提出書類を下記住所へ「簡易書留」で郵送する（出願期間最終日消印有効）。

封筒の表に「大学院入学願書在中」と朱書きすること。

〒184-8584 東京都小金井市梶野町3-7-2 法政大学小金井事務部大学院課

(3) 大学院課で願書受付処理の後、受験票（様式2）を返送する。試験日の3日前までに受験票が届かない場合は問い合わせること。

7. 試験会場・合格発表場所

■試験会場 法政大学小金井キャンパス（JR東小金井駅下車 徒歩約15分）
東京都小金井市梶野町3-7-2

■合格発表 合否案内webサイト <http://www.gouhi.com/hosei-gs/>
合格者には合格通知を郵送する。

8. 一般注意事項

■受理した出願書類・検定料は返還しない。

■受験者は、試験開始20分前までに必ず試験会場に入室すること。

■受験者が遅刻した場合、試験開始30分以後の入室は認めない。

■受験会場での携帯電話の使用は認めない。

■電話での合否の問い合わせには応じない。

■身体に障がいがあり、受験上および修学上特別な配慮を必要とする場合には、出願期間1ヶ月前に大学院課まで問い合わせること。

9. 入学手続

■合格者への入学手続き書類の発送時期

第1回合格者 — 2021年11月中旬発送予定

第2回合格者 — 2022年2月24日（木）発送予定

*入試出願時以降、上記の発送時期までに住所を変更した場合は必ず小金井事務部大学院課窓口へ届けること。

■入学手続きに用意するもの

①入学時の納入金

②住民票 1通

③写真（3ヶ月以内に撮影したもの・縦3cm×横3cm） 2枚

④卒業・修了証明書（卒業見込・修了見込で受験した者のみ）1通

⑤成績証明書（卒業見込・修了見込で受験した者のみ）1通

⑥学位証明書（外国の大学を卒業・修了見込で受験した者のみ）1通

※法政大学卒業見込及び法政大学大学院修了見込者は上記④、⑤は不要。

1 0. 学費等

<情報科学研究科・理工学研究科 共通事項>のページを必ず読むこと。

1 1. 入学の辞退について

「一般入試」で合格した方が、進路変更により入学辞退をする場合は、下記のとおり手続きすること。

1. 希望した大学院指導予定教員に、入学を辞退する旨を連絡。
2. 「入学辞退届」を大学院課窓口に提出。

■入学手続き前に辞退する場合

→「入学辞退届」はA4サイズの用紙に書式自由で以下①から④を記入。

- ①理工学研究科長宛
- ②提出年月日
- ③理由
- ④署名・捺印

1 2. TOEIC®・IP のスコアについて（法政大学出身者）

スコアレポートは原本が必要になります。学部1年次以降に本学で受験した TOEIC®・IP テストのスコアレポートも有効になりますので、各自大切に保管しておいて下さい。

IP テストスコアレポートを紛失した場合は、有料で再発行して下さい（採点した年度の翌年度4月1日から2年間に限り再発行可能）。出願直前に慌てないよう、予め再発行しておいて下さい。

TOEIC® L&R・IP テスト（オンライン）を受験した方は、ご自宅で印刷したものをご提出ください。

1 3. 研修生制度および、修士課程と研修生の併願制度について

■研修生制度とは

本大学院修士課程への進学を目指し、その準備教育として入学を希望する方が対象です。期間は1年間で、在留資格が「留学」の外国人留学生は、入管法により年間を通じ、週10時間以上の履修登録が必要です。

■研修生との併願制度とは

修士課程入試で不合格になった方を対象に、修士課程入試結果を使って、同時に研修生としての合否判定を行う制度です。合格の場合、研修生として1年間、在学することができます。希望する場合は、出願時に入学志願票（様式1）の所定欄に併願についての選択をしてください。「希望する」「希望しない」のいずれも選択されていない場合は希望しないものとみなします。

検定料は併願の場合でも35,000円です。なお、出願後の変更は一切認められません。

1 4. 学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患した場合

入学試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻疹、水疱瘡等）に罹患し治癒していない場合は、他の受験生や監督者等への感染の恐れがありますので、受験をご遠慮願います。ただし、病状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認めた場合は、この限りではありません。なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いません。試験当日の体調管理については十分に注意してください。

Ⅱ. 一般推薦入試要項

本制度は、法政大学以外からの優秀な人材を受け入れるため、筆記試験を免除し口述（面接）試験と学業成績および推薦書を総合的に判断して入学を許可する制度である。

1. 募集専攻の入学定員

	修士課程（博士前期課程）	博士後期課程
専攻および 入学定員	機械工学専攻 50名	機械工学専攻 2名
	応用化学専攻 30名	応用化学専攻 3名
	電気電子工学専攻 50名	電気電子工学専攻 5名
	応用情報工学専攻 50名	応用情報工学専攻 4名
	システム理工学専攻 75名	システム理工学専攻 4名
	生命機能学専攻 40名	生命機能学専攻 4名

※上記は他の選抜方式を含めた理工学研究科全体の募集人員である。一般推薦入試による募集人員は各課程・専攻とも若干名である。（その他の選抜方式については「入学制度について」のページ参照のこと。）

2. 入学試験日程

※ 修士課程の一般推薦入試は第1回のみ。

	第1回	第2回
課程	修士課程・博士後期課程	博士後期課程のみ
出願期間	2021年5月31日（月） ～6月7日（月）	2022年1月11日（火） ～1月21日（金）
試験日	口述試験 2021年7月4日（日） （修士）9：30～ （博士）修士課程終了後	口述試験 2022年2月21日（月） （修士）9：30～ （博士）修士課程終了後
合格発表	2021年7月13日（火） 10：00 合否案内webサイトにて発表	2022年2月24日（木） 10：00 合否案内webサイトにて発表
入学金・春学期分学費等納入 および入学手続期間	2021年11月29日（月） ～12月10日（金）	2022年2月24日（木） ～3月2日（水）

（注）試験は口述試験である。

3. 出願資格

修士課程（博士前期課程）

下記①～④を満たす者

- ①2022年3月大学卒業見込みの者
- ②学部教育で志望の専攻と関連系統の専門教育を受けている者
- ③学業成績が優秀な者
- ④学長又は学部長、及び指導教授が責任を持って推薦ができ、合格した場合には必ず入学を確約できる者

博士後期課程

下記①～④を満たす者

- ①2022年3月修士課程修了見込みの者
- ②修士課程で志望の専攻と関連系統の専門教育を受けている者
- ③学業成績が優秀な者
- ④学長又は研究科長、及び指導教授が責任を持って推薦ができ、合格した場合には必ず入学を確約できる者

4. 出願手続

■提出書類

提出物	修士課程 志願者	博士後期課程 志願者
①入学志願票（様式1） * 3ヶ月以内に撮影した写真を貼付 * 入学検定料の「収納証明書」を貼付のこと	必須	必須
②受験票（様式2） * 志願する課程、専攻（系・領域）、氏名、受験票送付先住所を楷書で記入すること * 願書受付処理後にはがきサイズに縮小印刷し、返送するので試験当日必ず持参すること	必須	必須
③面接カード（様式3） * 入学後の指導希望教員は特別研究・特別実験を担当する専任教員に限る	必須	必須
④成績証明書および卒業（見込）証明書（修士課程志願者） 成績証明書および修了（見込）証明書（博士後期課程志願者） * 「成績・卒業/修了（見込）証明書」1通でも可 * 法政大学出身者は、「成績・卒業/修了（見込）証明書」1通を提出すること * 出願前3ヶ月以内に発行されたもので、学部3年次（博士後期課程志願者は修士1年次）までの成績が記載されたもの。厳封無用 * コピー不可	必須	必須
⑤推薦書（学長又は学部長および指導教授によるもの）（様式5）	必須	必須
⑥住民票（市区役所・町村役場発行のもの）1通 * 「在留資格」と「在留期間」が記載され、個人番号（マイナンバー）が記載されていないものを提出。日本に住所登録がない場合（短期滞在ビザでの入国等）はパスポートの写し（写真および旅券番号がわかるページとビザのページ、ビザ免除国に該当する場合は出入国印が押印されているページ）を代わりに提出すること。	日本に居住する 外国籍者のみ	
⑦学士学位取得（見込）証明書（修士課程志願者） 修士学位取得（見込）証明書（博士後期課程志願者） * コピー不可	外国の大学卒業（見込）・ 外国の大学院修了（見込）の方のみ	

■指定様式については大学院ホームページより各自ダウンロードし、A4サイズのコピー用紙に片面印刷して提出すること。A4以外のサイズや両面印刷、裏紙の使用は不可。

■手書きで記入する場合は、黒または青のボールペンまたはペンを使用し、自筆で記入すること。熱で消えるボールペンは使用不可。

■提出書類は、入学後の指導希望教員に受験の了承を得てから提出すること。

■入学検定料 35,000円

■入学検定料の納入について

出願期間内に、コンビニ収納またはクレジット支払いにより納入する。

「コンビニエンスストアまたはクレジットカードでの検定料支払方法」を参照すること。

収納証明書を入学志願票（様式1）に貼付して提出すること。

■出願方法

- 提出書類を準備し、出願期間内に検定料を納入する。
- 提出書類を下記住所へ「簡易書留」で郵送する（出願期間最終日消印有効）。
封筒の表に「大学院入学願書在中」と朱書きすること。
〒184-8584 東京都小金井市梶野町3-7-2 法政大学小金井事務部大学院課
- 大学院課で願書受付処理の後、受験票（様式2）を返送する。試験日の3日前までに受験票が届かない場合は問い合わせること。

5. 試験会場・合格発表場所

- 試験会場 法政大学小金井キャンパス (JR東小金井駅下車 徒歩約15分)
東京都小金井市梶野町3-7-2
- 合格発表 合否案内webサイト <http://www.gouhi.com/hosei-gs/>
合格者には合格通知を郵送する。

6. 一般注意事項

- 受理した出願書類・検定料は返還しない。
- 受験者は、試験開始20分前までに必ず試験会場に入室すること。
- 受験会場での携帯電話の使用は認めない。
- 電話での可否の問い合わせには応じない。

7. 入学手続

- 合格者への入学手続書類の発送時期
 - 第1回合格者 — 2021年11月中旬発送予定
 - 第2回合格者 — 2022年2月24日(木) 発送予定
- *入試出願時以降、上記の発送時期までに住所を変更した場合は必ず大学院課窓口に届けること。
- 入学手続きに用意するもの
 - ①入学時の納入金
 - ②住民票 1通
 - ③写真(3ヶ月以内に撮影したもの・縦3cm×横3cm) 2枚
 - ④卒業・修了証明書(卒業見込・修了見込で受験した者のみ) 1通
 - ⑤成績証明書 (卒業見込・修了見込で受験した者のみ) 1通

8. 学費等

<情報科学研究科・理工学研究科 共通事項>のページを必ず読むこと。

9. 学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患した場合

入学試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症(インフルエンザ、麻疹、水疱瘡等)に罹患し治癒していない場合は、他の受験生や監督者等への感染の恐れがありますので、受験をご遠慮願います。ただし、病状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認めた場合は、この限りではありません。なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いません。試験当日の体調管理については十分に注意してください。

Ⅲ. 社会人特別入試要項

社会人特別入学制度について

理工学の分野においては、基礎的なものから応用、実践的なものを含めて研究課題は多様なものとなりつつある。それらはいずれをとっても主要な課題だが、それらが相互に啓発することによって、研究の内容は充実し、さらに高度化されることは間違いないことである。本学理工学研究科においては、以上のような視点から、社会人として1年以上の職歴を有する人々を積極的に迎え入れ、研究活動をより活性化するため、社会人を対象とする特別選考制度を設けている。

選考は面接による口述試験をもとに学力、研究能力を総合的に判定して合格者を決定する。

以上の趣旨をふまえ、積極的に応募されることを期待している。

1. 募集専攻の入学定員

	修士課程	博士後期課程
専攻および 入学定員	機械工学専攻 50名	機械工学専攻 2名
	応用化学専攻 30名	応用化学専攻 3名
	電気電子工学専攻 50名	電気電子工学専攻 5名
	応用情報工学専攻 50名	応用情報工学専攻 4名
	システム理工学専攻 75名	システム理工学専攻 4名
	生命機能学専攻 40名	生命機能学専攻 4名

※上記は他の選抜方式を含めた理工学研究科全体の募集人員である。社会人特別入試による募集人員は各課程・専攻とも若干名である。（その他の選抜方式については「入学制度について」のページ参照のこと。）

2. 入学試験日程

事前に出願資格審査が必要な場合があるので、「3. 出願資格」「4. 出願資格審査」を事前に確認すること。

	第1回	第2回
課程	修士課程・博士後期課程	
出願期間	2021年 5月31日(月) ～6月7日(月)	2022年 1月11日(火) ～1月21日(金)
試験日	口述試験 2021年 7月4日(日) (修士) 9:30～ (博士) 修士課程終了後	口述試験 2022年 2月21日(月) (修士) 9:30～ (博士) 修士課程終了後
合格発表	2021年 7月13日(火) 10:00 合否案内webサイトにて発表	2022年 2月24日(木) 10:00 合否案内webサイトにて発表
入学金・春学期分学費等納入 および入学手続期間	2021年11月29日(月) ～12月10日(金)	2022年2月24日(木) ～3月2日(水)

(注) 試験は口述試験である。

3. 出願資格

修士課程

出願時に1年以上の職務歴を有し、以下の①～③のいずれかに該当する者

- ①大学を卒業した者
- ②文部科学大臣の指定した者
- ③本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者

博士後期課程

出願時に1年以上の職務歴を有し、以下の①～⑤のいずれかに該当する者

- ①2022年3月末までに修士課程修了見込みの者
- ②修士の学位を有する者
- ③外国における大学院において、修士に相当する学位を得た者
- ④大学を卒業し、または外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以

上研究に従事した者で、本大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

⑤本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者

(注) ④により出願しようとする者は、出願期間前に小金井事務部大学院課へ問い合わせ、受験資格を確認すること。
(042-387-6014)

4. 出願資格審査

入学資格審査（修士課程の③，博士後期課程の⑤）により受験しようとする者は、出願前に以下の書類を提出期日に提出し、資格の認定を受ける必要がある。この資格で受験を考えている者は、希望する研究指導教員の承諾を得たうえで、事前に小金井事務部大学院課（042-387-6014）へ問い合わせ、提出書類を入手すること。

■提出書類

- ①出願資格認定審査調書（本学大学院指定用紙）
- ②学術活動・実務経験報告書（同上）
- ③研究業績（同上）〈博士後期課程のみ〉（論文等の抜刷（各1部）添付のこと）
- ④成績証明書および卒業証明書
- ⑤身元保証書（外国人留学生のみ）
- ⑥返信用封筒（定形封筒、宛名明記、84円切手貼付）

■提出期日 第1回 2021年5月10日（月）～5月12日（水）
第2回 2021年11月24日（水）～11月26日（金）

■提出方法 封筒の表に「出願資格認定書類在中」と朱書きし、下記住所へ「簡易書留」で郵送すること（締切日必着）。

〒184-8584 東京都小金井市梶野町3-7-2 法政大学小金井事務部大学院課 宛

■審査結果の通知 第1回 2021年5月25日（火）発送予定
第2回 2021年12月17日（金） //

5. 出願手続

■提出書類

提出物	修士課程 志願者	博士後期課程 志願者
①入学志願票（様式1） *該当する事項を○で囲み、必要事項を記入すること *3ヶ月以内に撮影した写真を貼付 *「志望専攻」は、機械工学、応用化学、電気電子工学、応用情報工学、システム理工学（創生科学系）、システム理工学（経営システム系）、生命機能学（生命機能学領域）、生命機能学（植物医科学領域）のいずれかを記入	必須	必須
②受験票（様式2） *志願する課程、専攻（系・領域）、氏名、受験票送付先住所を楷書で記入すること *はがきサイズに縮小して印刷し、返送する	必須	必須
③面接カード（様式3） *入学後の指導希望教員は特別研究・特別実験を担当する専任教員に限る	必須	必須
④履歴書（様式6）	必須	必須
⑤最終学歴の成績証明書および卒業/修了（見込）証明書 *「成績・卒業証明書」（修士課程志願者）、「成績・修了（見込）証明書」（博士後期課程志願者）1通でも可 *法政大学出身者は、「成績・卒業/修了（見込）証明書」を1通提出すること *出願前3ヶ月以内に発行されたもの。厳封無用 *コピー不可	必須	必須
⑥推薦書（様式7） *所属している機関などの長によるもの、出身大学での指導教員によるもの、自己推薦によるもの、のいずれか1通	必須	必須
⑦業績報告書（様式8） *大学卒業後（博士後期課程志願者は大学院修了後）に本人が行った業績または活動内容の概要を1,000字以内にまとめたもの	必須	必須
⑧研究計画書（様式9） *研究計画書の作成に当たっては、希望する指導教員と相談のうえ、希望する研究課題、研究計画の概要を1,000字以内にまとめたもの	必須	必須
⑨出願資格認定書の写し	出願資格審査により受験を許可された者のみ	
⑩住民票（市区役所・町村役場発行のもの）1通 ※「在留資格」と「在留期間」が記載され、個人番号（マイナンバー）が記載されていないものを提出。日本に住所登録がない場合（短期滞在ビザでの入国等）はパスポートの写し（写真および旅券番号がわかるページとビザのページ、ビザ免除国に該当する場合は出入国印が押印されているページ）を代わりに提出すること。	日本に居住する 外国籍者のみ	
⑪学士学位取得（見込）証明書（修士課程志願者） 修士学位取得（見込）証明書（博士後期課程志願者） *コピー不可	外国の大学卒業（見込）・外国の大学院修了（見込）の方のみ	
⑫修士論文および修士論文概要（2,000字以内）		必須

■指定様式については大学院ホームページより各自ダウンロードし、A4サイズのコピー用紙に片面印刷して提出すること。A4以外のサイズや両面印刷、裏紙の使用は不可。

■手書きで記入する場合は、黒または青のボールペンまたはペンを使用し、自筆で記入すること。熱で消えるボールペンは使用不可。

■提出書類は、入学後の指導希望教員に受験の了承を得てから提出すること。

■⑤は出願資格審査により受験を許可された者は除く。

■入学検定料 35,000円

■入学検定料の納入について

出願期間内に、コンビニ収納またはクレジット支払いにより納入する。

「コンビニエンスストアまたはクレジットカードでの検定料支払方法」を参照すること。
収納証明書を志願票に貼付して提出すること。

■出願方法

- (1) 提出書類を準備し、出願期間内に検定料を納入する。
- (2) 提出書類を下記住所へ「簡易書留」で郵送する（出願期間最終日消印有効）。
封筒の表に「大学院入学願書在中」と朱書きすること。
〒184-8584 東京都小金井市梶野町3-7-2 法政大学小金井事務部大学院課
- (3) 大学院課で願書受付処理の後、受験票（様式2）を返送する。試験日の3日前までに受験票が届かない場合は問い合わせること。

6. 選考方法

- ①出願書類および面接による口述試験をもとに研究能力を総合的に判断して、合格者を決定する。
- ②口述試験には、提出された業績報告書、研究計画書、および修士論文の内容、関連する専門科目および外国語を含む。
- ③必要な場合には、筆記による試験を実施することもあるが、この場合はあらかじめ本人に通知する。

7. 試験会場・合格発表場所

- 試験会場 法政大学小金井キャンパス（JR東小金井駅下車 徒歩約15分）
東京都小金井市梶野町3-7-2
- 合格発表 合否案内webサイト <http://www.gouhi.com/hosei-gs/>
合格者には合格通知を郵送する。

8. 一般注意事項

- 受理した出願書類・検定料は返還しない。
- 受験者は、試験開始20分前までに必ず試験会場に入室すること。
- 受験会場での携帯電話の使用は認めない。
- 電話での合否の問い合わせには応じない。

9. 入学手続

■合格者への入学手続書類の発送時期

第1回目合格者 — 2021年11月中旬発送予定

第2回目合格者 — 2022年2月24日（木）発送予定

*入試出願時以降、上記の発送時期までに住所を変更した場合は必ず大学院課窓口へ届けること。

■入学手続きに用意するもの

- ①入学時の納入金
- ②住民票 1通
- ③写真（3ヶ月以内に撮影したもの・縦3cm×横3cm） 2枚

10. 学費等

<情報科学研究科・理工学研究科 共通事項>のページを必ず読むこと。

11. 学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患した場合

入学試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻疹、水疱瘡等）に罹患し治療していない場合は、他の受験生や監督者等への感染の恐れがありますので、受験をご遠慮願います。ただし、病状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認めた場合は、この限りではありません。なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いません。試験当日の体調管理については十分に注意してください。

法政大学大学院 コンビニエンスストアまたはクレジットカードでの入学検定料支払方法

1 Webで事前申込み

本学HP
からも
アクセス
できます！



<https://e-shiharai.net/>



画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。

★Webから以下のように情報の入力が必要です。

1. トップページ——お支払先（大学院）を選択してください。
2. 学 校 選 択——「法政大学大学院」を選択してください。
3. 学校案内&個人情報承諾——注意事項等を確認のうえ、個人情報の取扱いについて同意してください。
4. カテゴリ選択——第1～第4選択を選び、「次へ」をクリック。
5. 基本情報入力——出願者の基本情報を入力してください。支払先を選択し、「次へ」をクリック。クレジットカードを選択した場合は、続けてカード番号等を入力してください。
6. お支払い内容確認——全入力内容が表示されますので、よろしければ「申込みを確定する」をクリック。
7. 確 定——「確定」画面に通知された[番号]と[お支払期間]を確認し、選択したコンビニでお支払いください。クレジットカードを選択した場合は、申込確定と同時に支払いも完了です。

※カード決済完了後の修正・取消はできません。申込みを確定する前に、内容をよくご確認ください。
※番号取得後に入力ミスに気づいた場合はその番号では支払いを行わず、もう一度入力直して、新たな番号を取得してお支払いください。支払い期限内に代金を支払わなかった入力情報は、自動的にキャンセルされます。

※確定画面に表示される番号をメモしてください。➡

2 お支払い

オンライン決済



※お支払いされるカードの名義人は、受験生本人でなくても構いません。但し、「基本情報入力」画面では、必ず受験生本人の情報を入力してください。

Web申込みの際に、
支払方法で
「クレジットカード」を選択

カード情報を入力

全入力内容が表示されますので、
正しければ「確定」を押す

お支払い完了です。
下記の手順に従って、
「収納証明書」を印刷してください。

ネット受付店頭支払い

- 入学検定料はATMでは振り込みできません。必ずレジでお支払いください。
- 店頭端末機の画面デザイン等は、予告なく変更される場合があります。



【払込票番号（13ケタ）】

●レジにて
「インターネット支払い」と
店員に伝え、印刷した【払込票】
を渡すか、【払込票番号】を
伝えてお支払いください。

マルチコピー機は使用しません

お支払い後、必ず「入学検定料・
選考料取扱明細書」（チケット）
を受け取ってください。



【お客様番号（11ケタ）】
【確認番号（4ケタ）】



各種サービスメニュー
各種代金・インターネット受付
（案のボタン）
各種代金お支払い
マルチペイメントサービス
【お客様番号】【確認番号】
を入力

店頭端末機より出力される「申込券」（受付票）を持って、30分以内にレジでお支払いください。

お支払い後、必ず「入学検定料・選考料 取扱明細書」を受け取ってください。



【お客様番号（11ケタ）】
【確認番号（4ケタ）】



代金支払い
各種代金お支払い
番号入力画面に進む
【お客様番号】【確認番号】
を入力

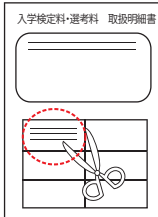
3 出 願

オンライン決済の場合

支払完了後、E-支払いサイトの「申込内容照会」に
アクセスし、受付完了時に通知された【受付番号】と
【生年月日】を入力して「収納証明書」を印刷。
「収納証明書」部分を切り取り、
所定欄に貼り出願。

<注意>

携帯電話・スマートフォンでお申込み
された方は、プリンタのある環境でご
利用ください。

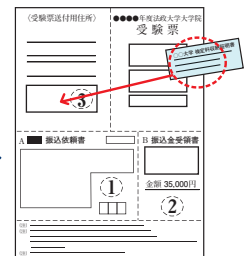


ネット受付店頭支払いの場合

「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」
部分を切り取り、所定欄に貼り出願。



※「収納証明書」を糊付けする際には、糊本体の注意書きに
「感熱感圧紙などを変色させる場合があります」と記載
されている糊はご使用にならないでください。
「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。



※クレジットカード・コンビニで
お支払いされた場合、「取扱金
融機関出納印」は不要です。

事務 手数料

検定料の他に事務手数料が別途かかります。詳しくはWebサイトをご確認ください。 ※事務手数料は変更になる場合があります。

- 出願期間を入試要項等でご確認のうえ、締切に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日の「Webサイトでの申込み」は23:00まで、店頭端末機の操作は23:30までです。クレジットカードの場合、Webサイトでのお申込みと同時に支払いが完了します。23:00までにお手続きしてください。
- 「検定料払込」についてのお問い合わせは、コンビニ店頭ではお答えできません。詳しくはWebサイトをご確認ください。
- 一度お支払いされた検定料は返金できません。
- 「申込内容照会」から収納証明書が印刷できるのは、クレジットカードでお支払いされた場合に限りです。
- カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。
- 取扱いコンビニ、支払方法は変更になる場合があります。変更された場合は、Webサイトにてご案内いたします。

＜情報科学研究科・理工学研究科 共通事項＞ 全員必ず読むこと

1. 各種証明書の提出について

■特に指定がない場合は、証明書はいずれも原本を提出してください。コピーの提出は不可です。

再発行が不可能な証明書等の原本については、出願前に大学院課の窓口で確認を受けるか、証明書のコピーとそのコピーが正しいことの公証書を提出することで、原本に代えます。

■原本の返却が必要な場合は、再発行が不可能なものに限り、返却（返送）が可能です。

- ・どの証明書を返送希望か記載したメモ
 - ・返送先住所および氏名を明記した返送用封筒（郵送料分の切手を貼ったもの）
- これらをご用意いただき、出願書類提出時に同封してください。

■証明書の「厳封」は不要です。あらかじめ開封し証明書の内容をよく確認のうえ、提出してください。

■証明書の氏名が現在と異なる場合は、氏名変更を証明するもの（戸籍抄本等）1通を提出してください。

■外国の大学を卒業した場合（見込みを含む）

成績証明書、学士学位取得証明書などは、英語または日本語のものを提出してください。

提出が困難な場合は大使館等の公的な機関で、自分で用意した英訳または日本語訳の証明書の翻訳が正しい（内容が一致している）ことの公証書を発行してもらい、証明書原本と翻訳文と公証書を合わせて提出してください。

※証明書が日本語または英語で書かれている場合

証明書が原本であることをよく確認し、そのままご提出ください。

※証明書が日本語または英語ではない場合

証明書原本（日本語、英語以外）1通 + 翻訳（日本語もしくは英語のものを自分で用意）1通 + 大使館・公証処（日本の公証役場は不可）での公証 を全て揃えて提出してください。

■外国の大学院を修了した場合（見込みを含む）

修了証明書、成績証明書、学位取得証明書などは、英語または日本語のものを提出してください。

提出が困難な場合は大使館等の公的な機関で、自分で用意した英訳または日本語訳の証明書の翻訳が正しい（内容が一致している）ことの公証書を発行してもらい、証明書原本と翻訳文と公証書を合わせて提出してください。

※証明書が日本語または英語で書かれている場合

証明書が原本であることをよく確認し、そのままご提出ください。

※証明書が日本語または英語ではない場合

証明書原本（日本語、英語以外）1通 + 翻訳（日本語もしくは英語のものを自分で用意）1通 + 大使館・公証処（日本の公証役場は不可）での公証 を全て揃えて提出してください。

■編入学・転籍・転部・学士入学をしている場合は、前籍の証明書も必要となります。

編入学等をする前に在籍していた学校（前籍）の種別や卒業の有無により提出物が異なります。

なお、転籍・転部している場合は転籍・転部前の学部学科の「成績証明書（1通）」を提出してください。

前籍の種別	卒業/修了	卒業証明書	成績証明書	学位取得証明書
大学	している	1通提出 (日本の学校に限る)	1通提出	1通提出 (外国の学校に限る)
大学院	している	1通提出	1通提出	1通提出 (外国の学校に限る)
大学/大学院	していない (退学など)	—	1通提出	—
短期大学/専門学校	卒業の有無にかかわらず	—	1通提出	—

■**修士課程・研修生志願者で、複数の大学あるいは複数の学部（専攻）を卒業している場合（見込みを含む）**
卒業したすべての大学・学部（専攻）を出願書類の学歴欄に記入し、それぞれの「成績証明書」「卒業（見込）証明書（日本の大学卒業・卒業見込の場合のみ）」「学士学位取得（見込）証明書（外国の大学卒業・卒業見込の場合のみ）」を提出してください。ダブルディグリープログラムにより学位を取得した方（見込みを含む）もこれに該当します。

■**修士課程・研修生志願者で、既に他大学院を修了している場合（見込みを含む）**
卒業学部の証明書だけでなく、修了大学院の「成績証明書」「修了（見込）証明書」「修士学位取得（見込）証明書（外国の大学院修了の場合のみ）」も提出してください。また、修了した大学院が複数ある場合には、そのすべてについて出願書類の学歴欄に記入し証明書を提出してください。

■**博士後期課程志願者で、複数の大学院を修了している場合（見込みを含む）**
修了したすべての大学院を出願書類の学歴欄に記入し、それぞれの「成績証明書」「修了（見込）証明書」「修士学位取得（見込）証明書（外国の大学院修了の場合のみ）」を提出してください。ダブルディグリープログラムにより学位を取得した方（見込みを含む）もこれに該当します。

■**博士後期課程志願者で、法政大学の学部卒業だが修士課程は他大学院を修了している場合（見込みを含む）**
修士課程（他大学院）の証明書だけでなく、法政大学の学部「卒業（見込）証明書」も提出してください。これにより、法政大学の出身者（自校）であることが証明されます。

<重要> 中華人民共和国の教育機関出身の大学院志願者のみなさまへ（証明書提出について）

出身の教育機関から英語または日本語による証明書が発行できない場合には、以下の方法で出願書類をそろえてください。なお、各機関によって取り扱う証明書が異なります。自分に必要な書類は何か、書類の発行には何日かかるか、事前によく確認し余裕をもって準備してください。

◆「証明書原本」「翻訳文（日本語もしくは英語のものを自分で用意）」を用意し中国国内の各地方の公証処（各地方の司法局に認定された機関）で手続き「公証書」を入手する。

◆中国政府教育部学歴認証センター（CHSI。中国・北京市。日本国内からの郵送申請も可能）で認証手続きを行い「学歴認証報告書（英語版）」や「成績認証報告書（英語版）」を入手する。
※認証報告書の原本を提出してください。オンラインシステムから自分で出力したものは受理できません。

◆中国政府指定 CHSI 学歴・学籍認証センター日本代理機構で認証手続きを行い「学歴認証報告書（英語版）」や「成績認証報告書（英語版）」を入手する。

◆中国国内（中国・北京市）の CDGDC（中国教育部学位与研究生教育发展中心）で認証手続きを行い、学歴や成績・学位に関する「認証書」を入手する。
※2018年6月までに申請・発行されたものは提出可能。同7月以降に申請・発行されたものは受理できません（中国語版のみの発行となったため）。

※中華人民共和国駐日本国大使館及び総領事館では平成24年より公証業務を行いません。
（大使館からの通知内容）

「中華人民共和国駐日本国大使館及び総領事館では、中国国内で発行された卒業証書及び成績表等の関係文書のコピーと原文一致、翻訳文と原文一致の公証を発行しているが、平成24年8月1日からは、これらの業務を行わないこととする」

■よくある質問について

Q. 日本の公証役場で公証をしてもらいました。この公証書は出願書類として使用できますか。

A. 日本の公証役場での公証（公証書）は、翻訳の内容を証明するものではないため使用できません。

- Q. 証明書の翻訳を、翻訳会社や日本語学校に依頼しました。出願書類として使用できますか。
 A. それだけでは使用できません。さらに大使館や公証処等の公的な機関での公証の提出が必要です。

- Q. 学位取得（見込）証明書には「課程の種類」や「学位の種類（〇〇学学位、など）」の記載が必要ですか。
 A. 課程の種類（学士／修士／博士／専門職、など）は記載が必要ですが、学位の種類（〇〇学学位、など）の記載は任意です。

2. 学費

学費は下記のとおりである。

春学期（4月末）・秋学期（9月末）の2回に分けて納入することになる。ただし、1年次（初年度）の春学期分は、入学手続き時に納入することになる。

学費一覧（2022年度予定）

（単位：円）

		修士課程	博士後期課程
入学金	自校	—	—
	他校	200,000	200,000
授業料（年額）		770,000	600,000
教育充実費（年額）		100,000	100,000
実験実習費（年額）		生命機能学専攻植物医科学領域以外 100,000	生命機能学専攻植物医科学領域以外 100,000
		生命機能学専攻植物医科学領域のみ 160,000	生命機能学専攻植物医科学領域のみ 160,000

		修士課程	博士後期課程
入学手続き時の 納入金	自校	生命機能学専攻植物医科学領域以外 485,000	生命機能学専攻植物医科学領域以外 400,000
		生命機能学専攻植物医科学領域のみ 515,000	生命機能学専攻植物医科学領域のみ 430,000
	他校	生命機能学専攻植物医科学領域以外 685,000	生命機能学専攻植物医科学領域以外 600,000
		生命機能学専攻植物医科学領域のみ 715,000	生命機能学専攻植物医科学領域のみ 630,000

注（1）自校とは、本学の卒業生または大学院修了者を指し、他校とはその他の者を指す。

（2）教育充実費及び実験実習費は2年次以降も必要。

（3）一旦納入した入学金はいかなる理由があっても返還しない。

（4）上記金額は2022年度予定額であり、変更となる可能性もある。

3. 入学手続き後の学費等の返還について

入学手続きを完了した後（入学時納入金を全額納入した後）に、やむを得ない理由により入学辞退を希望し、2022年3月31日（木）までに本大学院が定める手続きにより入学辞退の届け出をした者には、入学金を除く授業料その他の納入金を返還する。詳細は、合格者に送付される「入学手続き書類」を参照すること。

4. 在学年限

■修士課程

修業年限は2か年とし、4か年を超えることはできない。

■博士後期課程

修業年限は3年とし、6年を超えることはできない。ただし、優れた業績を上げた者で修士課程に2年以上在学した者については1年以上で足りるものとする。

5. 学位の授与とその種類

研究科	専攻	修士課程 学位	博士後期課程 学位
情報科学研究科	情報科学専攻	修士（理学）	博士（理学）
理工学研究科	機械工学専攻	修士（工学）	博士（工学）
理工学研究科	応用化学専攻	修士（理工学）	博士（理工学）
理工学研究科	電気電子工学専攻	修士（工学）	博士（工学）
理工学研究科	応用情報工学専攻	修士（工学）	博士（工学）
理工学研究科	システム理工学専攻	修士（工学）	博士（工学）
理工学研究科	生命機能学専攻	修士（生命科学）	博士（生命科学）

6. 奨学金について（2021年度参考）

（1）日本学生支援機構大学院奨学金

毎年その年度の枠内で選考の上、採用している。

貸与月額 第一種（無利子） 修士課程 50,000円・88,000円の中から選択
博士後期課程 80,000円・122,000円の中から選択

上記無利子の奨学金の他に有利子の奨学金もある。

（2）日本学生支援機構「第1種」奨学金業績優秀者返還免除

（3）法政大学100周年記念大学院修士課程奨学金

全研究科で160名予定。

（4）理工系学部教育振興基金・成績優秀者表彰

理工系研究科各専攻1名、給付額は50,000円。

※その他の奨学金は大学院HPを参照のこと。

7. 大学院特別学生について

本大学院には、以下の通り学位の取得を目的としない特別学生の制度がある。

（1）研究員

現役の研究者もしくは、それに準ずる者で、大学・研究所その他の機関から特定の主題による研修を委託された者

（2）研究生

修士の学位を有し、本大学院専任教員の研究指導を受けることを目的とする者

（3）委託研修生

公共団体、またはその他の機関より本大学院に特定の授業科目について修学を委託された者

（4）科目等履修生

大学院の入学資格を有し、本大学院授業科目を履修し単位修得を目的とする者

（5）研修生

大学院の入学資格を有し、特定の主題をもって本大学院専任教員の研究指導を受けることを目的とする者。修士課程第2回一般入試志願者で、不合格の場合に研修生入試への出願を希望する者は、入試志願票（様式1）の所定欄に併願についての選択をすること。

※上記特別学生制度については、小金井事務部大学院課に問い合わせること。

※但し、情報科学研究科では④科目等履修生⑤研修生は受け入れていない。

8. その他

- (1) 授業科目、シラバス、担当教員の専門領域等については大学HPを参照のこと。
- 受験案内 <http://www.hosei.ac.jp/gs/jukensei/index.html>
 - シラバス <https://syllabus.hosei.ac.jp/web/show.php>
 - 学術研究データベース <http://kenkyu-web.i.hosei.ac.jp/scripts/websearch/index.htm>
- (2) 修士課程一般入試の過去問題の照会先は以下の通り。
- 法政大学在学者 学習支援システム
 - 上記以外の者 法政大学小金井事務部大学院課 hge@hosei.ac.jp

9. 問い合わせ先

法政大学大学院 情報科学研究科・理工学研究科

事務局 法政大学小金井事務部大学院課
〒184-8584 東京都小金井市梶野町 3-7-2
TEL 042-387-6014 FAX 042-387-6048
MAIL hge@hosei.ac.jp